

美方郡のウスバシロチョウ

黒井 和之

黒井（1993）は“美方郡西部のウスバシロチョウの新産地と知見”をまとめたが、その後の調査によって温泉・美方・村岡の各町で新産地を追加しているので報告しておきたい。

なお、報告にあたり、美方郡のウスバシロチョウを総まとめとして、これまでに発表されている既知産地と、今回の調査で追加できた新産地の記録をあわせて掲げておく。

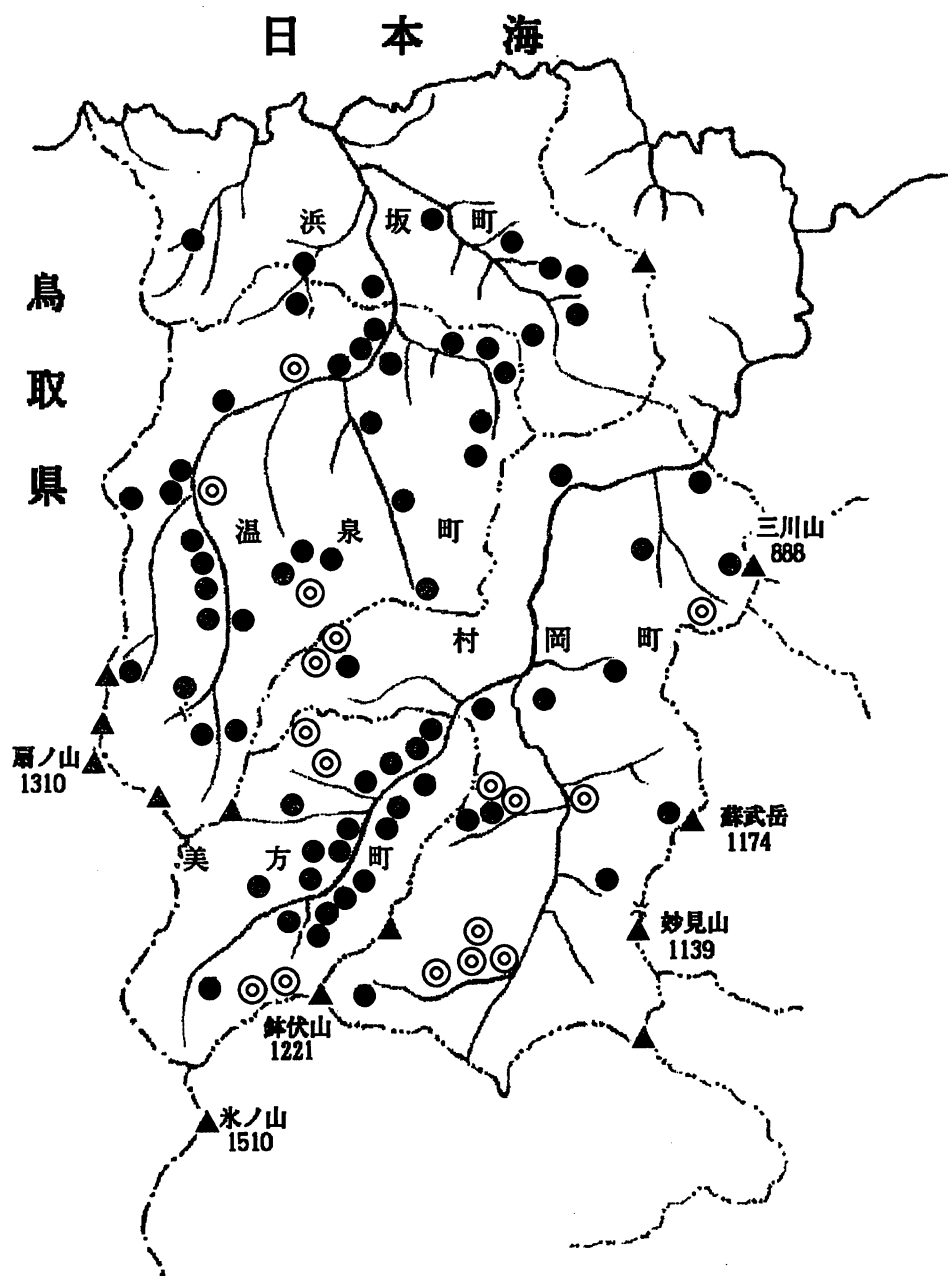
《既知産地》

浜坂町 田君谷・池ヶ平・正法庵・大滝・境・久斗山・本谷・用土・諸寄
 温泉町 青下・菅原・畑ヶ平・上山・霧ヶ滝・海上・桧尾・伊角・春來・中辻・
 田中・肥前畑・千谷・熊谷・仁連寺・金屋口・井土・八日市・湯谷・
 丹土・越坂・内山・花口・前・湯・多子・後山・鐘尾・高山
 村岡町 大笹・蘇武・三川山・熊波・作山・境・山田・味取・和佐父・用野・
 萩山・宮神・長板
 美方町 熱田・神水・石寺・貫田・秋岡・新屋・忠宮・大谷・久須部・東垣・
 鍛冶屋・佐坊・茅野・平野・実山・野間谷・広井・城山・石寺

《新産地とデータ、すべて1993年の記録》

温泉町竹田（1♂, V-23）, 切畑（5♂, V-23）, 宮脇（3♂, V-23）, 美方町
 奥ハチスキー場（5♂, V-23）, オジロスキー場（3♂, V-23）, 備（1♂, V-
 23）, 大照林道（2♂, V-23）, 神場（3♂, V-29）, 一二峠（1♂, V-29）,
 村岡町高坂（5♂, V-16）, 森脇（5♂, V-16）, 福岡（2♂, V-16）, 池ヶ平
 （7♂, V-16）, 相岡（2♂, V-16）, 相岡大池（3♂, V-16）, 相田（2♂,
 V-29）, 神坂（1♂, V-29）, 村岡（1♂, V-29）, 小城（2♂, V-30）

1993年は、岸田川中流域と矢田川の中～上流域にまとを絞って調査を行った。



●は既産地

◎は生息が確認できた産地

美方郡西部のウスバシロチョウの分布図

その結果、温泉・美方・村岡の3町で合計19カ所新たな生息地を記録することができた。これまでの記録を合わせると美方郡内での本種の生息地は合計89カ所となり、河川流域沿いにほぼ連続して分布していることが確認できた。しかし、地図上にプロットしてみると、温泉町の飯野・塩山周辺で記録できず空白となっているし、村岡町の蘇武岳～三川山山麓では個体数が少なく分布密度が薄いことがよくわかる。

たった1年の調査では行動範囲も限られていて、本種のような出現期間の短い種は、そう簡単に結果を出すことは難しい。今後は、ゆっくりと付き合って調査を重ねて、完成度の高いものにしていきたいと思う。

参考文献

- 広畑政己・近藤伸一（1989）兵庫県産蝶類分布資料（5），ひろおび8：1-8。
 永幡嘉之（1993）ウスバシロチョウの分布調査，IRATSUME17:31-32。
 永幡嘉之（1993）ウスバシロチョウの分布調査，IRATSUME17:33-34。
 黒井和之（1993）美方郡西部のウスバシロチョウの新産地と知見，IRATSUME17:28-29。
 永幡嘉之（1994）ウスバシロチョウの分布調査，IRATSUME18:46-47。

《IRATSUMEの原稿募集》

IRATSUME20号の原稿を募集します。次号は『但馬むしの会』20周年記念号として、できるだけ多くの会員の方から原稿を募集いたします。古参会員の方には、この20年の但馬の虫に関するエピソードやトピックス、また但馬の自然の変遷などをご報告いただければ幸いです。フィールドノートや標本箱に眠ったままになっている記録、さらに今シーズンの最新成果などをどんどんお寄せください。各昆虫のデータのまとめや生態観察記はもちろん、採集記や短報も歓迎します。最近会員になられた方も、今後の抱負といったような内容でも結構ですから、ぜひご投稿ください。バラエティーに富んだ誌面にしたいと思います。

なお、原稿執筆に際しては、必ず投稿規定をお読みください。

原稿の締切は、1996年1月末です。

送付先・問合先は、〒567 茨木市新中条町5-36-102 谷角素彦まで。